

大山町総合計画とは…

将来における本町のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針

(大山町総合計画条例（平成25年大山町条例第27号）第1条）

- 👉 いわゆる町の最上位に位置する計画
- 👉 総合的かつ計画的な町づくりを推進するため策定

大山町総合計画の構成は…

- 基本構想 町づくりの基本理念であり、将来構想と基本目標を示すもの
- 基本計画 町づくりの基本的な計画であり、基本目標をふまえた施策の基本的方向及び体系を示すもの
- 実施計画 町づくりの具体的な計画であり、施策を実現するため実施する事業を示すもの

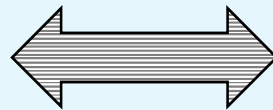
大山町総合計画の概要について

大山町総合計画

基本構想

基本計画

実施計画



■分野別計画

- ・大山町ひと・暮らし・しごと創生総合戦略
- ・大山町教育振興基本計画 等

■関連する個別計画

- ・大山町子ども・子育て支援事業計画
- ・大山町地域防災計画 等

必要に応じて
見直し

3か年計画
毎年度見直し

目標の達成や施策の実現のため各種事業を実施

これまでの大山町総合計画

計画内容の比較

	第一次大山町総合計画	第二次大山町総合 (大山町未来づくり10年プラン)
計画期間	平成18年6月～平成28年3月	平成28年4月～令和8年3月
基本理念	大山の恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓くまちづくり ～人と人、人と自然が心でつながるまち～	楽しさ自給率の高いまちへ
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と調和した快適な生活空間を実現するまちづくり ・地域の特性を活かし、共生する教育文化のまちづくり ・地域でつながり支え合う健康と福祉のまちづくり ・特性を活かし魅力ある産業を展開するまちづくり ・一人ひとりが大切にされ活かされる協働のまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちを愛し、自ら支える人であふれるまち ・みんながつながり合い、思い合うまち ・多様な働きが生まれる、見つかるまち ・自然に寄り添い、自然を活かすまち ・心身ともに安心・安全を実感できるまち
重点施策 ・ 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> ●高度情報通信環境の整備とサービス提供の仕組みづくり ●自然と文化に学ぶ特色ある教育環境づくり ●保健・医療・福祉の連携による安心の定住環境づくり ●子育て環境の充実による若者の定住環境づくり ●住民自治の機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●未来のまちを支えるひとづくり ●働き甲斐が感じられるしごとづくり ●生涯を通じて幸せを感じるくらしづくり ●手を取り助け合うなかまづくり ●地域の誇りや顔となるめぐみづくり

第一次総合計画の特徴

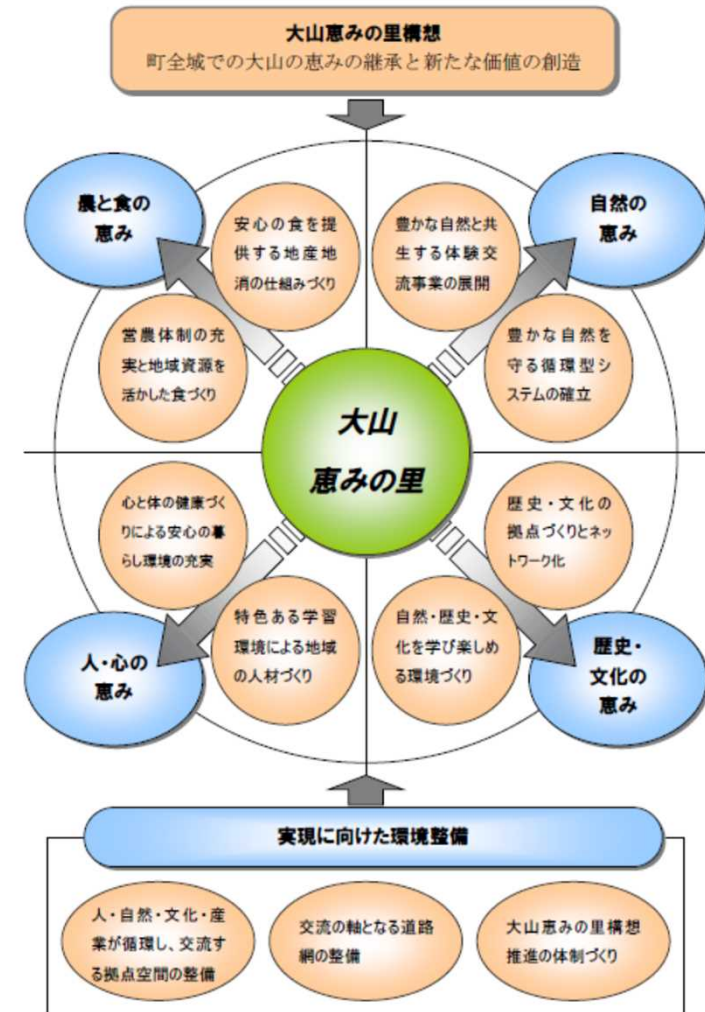
新町が一体となったまちの基礎づくり

第一次総合計画は、3町が合併し新町・大山町となつてから初めて策定した総合計画です。

- ・「自然の恵み」
- ・「歴史・文化の恵み」
- ・「農と食の恵み」
- ・「人・心の恵み」

これらを大山の恵みと位置づけ、町全域で大切に継承するとともに、更なる活用や融合により、新たな価値の創造をめざす「大山恵みの里構想」を掲げて、シンボル事業に取り組みました。

これによって、豊かな自然環境や自然の恵みといった新町・大山町の町民共通の理解が醸成され、大山を軸とする大山町の優位性として改めて認識されています。



(出典) 大山町総合計画 (平成18年6月～平成28年3月)

第二次総合計画の特徴

人が主役の3つの歯車 人づくりと楽しさ自給

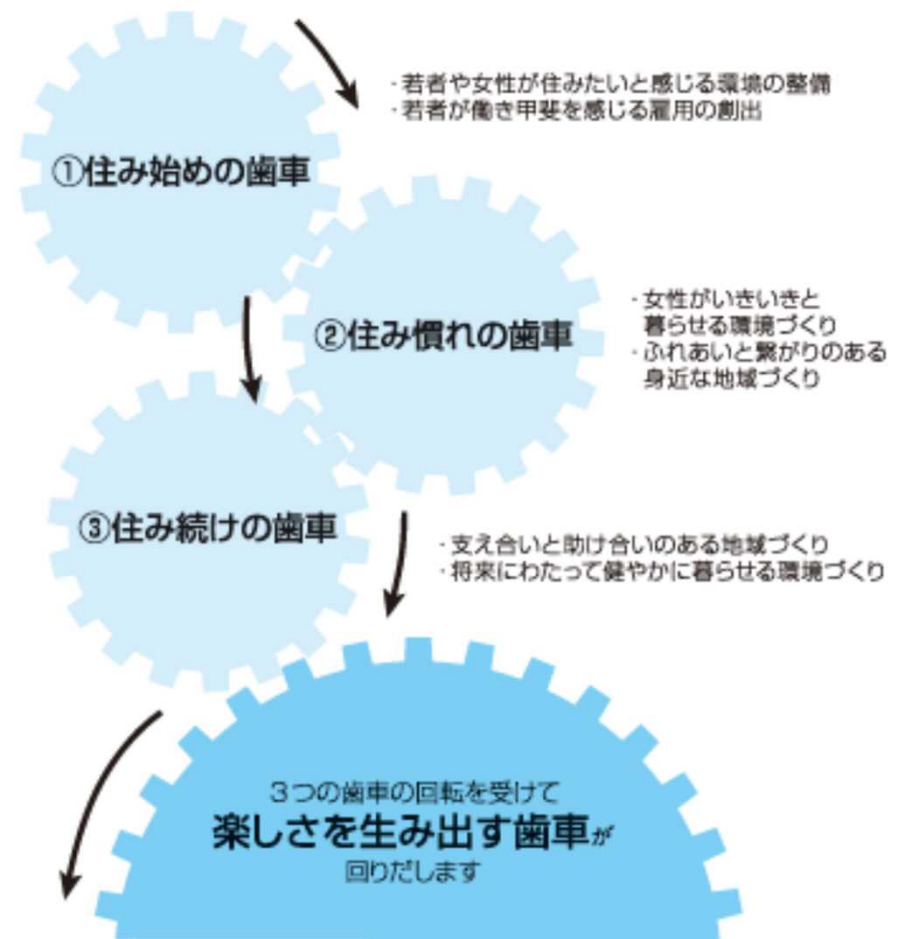
新町の基礎づくりが実現し、その成果を引き継ぎながら、いきいきと暮らし続けることのできるまちをつかっていく人、その行動を支える「楽しさ」に着目したのが、第二次総合計画です。

「楽しさ」のもととなる資源や生き生きと活動する人たちが楽しさを生み出し、その人たち同士がつながってさらなる楽しさが生まれていく、そのような「楽しさ自給率の高いまち」を目指し、協働のまちづくりに取り組んでいます。

人口減少・少子高齢化に対して、「人が主役の3つの歯車」のイメージをもとに施策を分類し、取り組みの推進を図っています。

- ① 住み始めの歯車
- ② 住み慣れの歯車
- ③ 住み続けの歯車

■ 「人が主役の3つの歯車」によるまちの活性化のイメージ図



(出典) 第二次大山町総合計画 (平成28年4月～令和8年3月)

つぎの第三次総合計画は

